

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公開番号】特開2016-220962(P2016-220962A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2015-110511(P2015-110511)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/32 (2006.01)

G 0 1 N 24/08 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 0

A 6 1 B 5/05 3 7 0

G 0 1 N 24/02 5 2 0 Y

G 0 1 N 24/08 5 1 0 Y

G 0 6 T 1/00 2 9 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

前記制御部は、前記移動を許容するか否かを示す情報を前記画面上に表示させる請求項 3乃至1 1のうちいずれか一項に記載の医用画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記制御部は、初期表示される前記ガイドの角度に対する、回動操作後の前記ガイドの相対角度を前記表示部に表示させる請求項 3乃至1 2のうちいずれか一項に記載の医用画像処理装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

記憶回路 1 5 は、RAM (random access memory)、フラッシュメモリ (flash memory) 等の半導体メモリ素子、ハードディスク、光ディスク等によって構成される。記憶回路 1 5 は、USB (universal serial bus) メモリ及び DVD (digital video disk) などの可搬型メディアによって構成されてもよい。記憶回路 1 5 は、処理回路 1 1 において用いられる

各種処理プログラム（アプリケーションプログラムの他、OS（operating system）等も含まれる）や、プログラムの実行に必要なデータや、ボリュームデータ及び医用画像を記憶する。また、OSに、操作者に対するディスプレイ13への情報の表示にグラフィックを多用し、基礎的な操作を入力回路12によって行なうことができるGUI（graphical user interface）を含めることもできる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

移動許容情報M5は、表示画面上における関心領域の移動操作のうち回動操作で、関心領域の回動を許容するが、ガイドの連動（回動）を許容しない。また、移動許容情報M4は、表示画面上における関心領域の移動操作のうちスライド操作で、関心領域のスライドを許容するが、ガイドの連動（スライド）を許容しない。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0147

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0147】

第2撮像機能714は、ステップST32によって設定された関心領域を撮像範囲として、各種診断用シーケンスを用いた診断用の撮像（本撮像）を実行して、診断用の画像を生成する（ステップST33）。